平成３０年度

教育施策の概要

～「教育のまち・早島」推進アクションプラン～

平成３０年４月

早　島　町　教　育　委　員　会

目　　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

学校教育課

１　早島町教育委員会の状況　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　学校・園の状況　　　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３　学校教育の推進体制　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

４　学校教育の基本目標　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

５　本年度の目標　　　　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

６　本年度の重点事業　　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

７　本年度の学校指標　　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

生涯学習課

１　生涯学習推進体制と施設　　・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

２　生涯学習推進の基本計画　　・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

３　本年度の重点事業　　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

４　本年度の主要事業スケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・２０

５　社会教育施設の取組　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

はじめに

近年、第４次産業革命といわれる、進化した人工知能（ＡＩ）など、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて加速度的に進展してきており、予測困難な不透明な時代が到来する中、子どもたちは、変化を前向きに受け止め、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが求められています。こうした時代に、たくましくしなやかに生きていく人材を育てるためには、持続可能な社会の担い手づくりを視野に入れ､学校教育のよさを更に進化させていき､予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが大切になります。そのためには、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化を立脚し、高い志と意欲をもち、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力がまさに求められているのです。

こうした力を育むために、平成３２年４月から小学校、平成３３年４月からは中学校の学習指導要領が改訂されることを踏まえて、今年度は、小学校英語や道徳の先行実施など、先を見据えた取組を進めていきます。また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと、②子どもたちが社会や世界と向き合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を教育課程で明確化し育んでいくこと、③地域の人的・物的資源を活用し、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図り、学校教育を学校内に閉じずに、目指すところを社会と共有・連携しながら実現させて行くことを大切にしていきます。

また、授業等を通して学びの質を向上するために、①学校教育を通じて育む資質・能力（個別の知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）と各教科等を学ぶ意義の明確化、②教育課程を軸に学校教育の改善・好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現、③生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」に向けた、授業改善の取組の活性化など、単元や題材のまとまりの中で、「何ができるようになるか」を明確にして、「何を学ぶか」という学習内容と「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていくことを大切にしていきます。

こうした国の動向は、まさに「早島町学校教育ビジョン」の目指す子ども像「地域とつながり、未来を拓く早島っ子」の育成につながっており、学校教育と社会教育の融合のもと、保幼小中の一貫教育の推進、ＥＳＤの視点を踏まえた生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの再構築、道徳教育・英語教育の充実、大学との連携などを進めてまいります。こうして「チーム早島」として、社会に開かれた教育課程や学びの質を向上することで、「次世代の学校」を構築するとともに、「早島から世界への扉を開く」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となり、協働・協学・協育の町づくりに向けて着実に前進していきたいと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

早島町教育長　徳山　順子

学 校 教 育 課

１　早島町教育委員会の状況

（1）　教育委員会の組織及び運営

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、教育委員会制度が平成２７年４月より次のように改正されました。

１　教育行政の責任の明確化

○教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置く。
○教育長は、首長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行う。
○教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。
○教育長の任期は、３年とする（委員は４年）。
○教育委員会から教育長に対し教育委員会会議の招集を求めることができる。
また、教育長は、委任された事務の執行状況を教育委員会に報告する。

２　総合教育会議の設置、大綱の策定

○首長は、総合教育会議を設ける。会議は、首長が招集し、首長、教育委員会により構成される。
○首長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第１７条に規定する基本的な方針を参酌して、教育の振興に関する施策の大綱を策定する。
○会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。調整された事項については、構成員は調整の結果を尊重しなければならない。

３　国の地方公共団体への関与の見直し

○いじめによる自殺の防止等、児童生徒等の生命又は身体への被害の拡大又は発生を防止する緊急の必要がある場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができることを明確化するため、第５０条（是正の指示）を見直す。

４　その他

○総合教育会議及び教育委員会の会議の議事録を作成し、公表するよう努める。

(2)　教育委員等

役職名	氏　　名	性別	任　　期
教　育　長	徳山 順子	女	H27.12.26～H30.12.25
教育長職務代理者	大森　　茂	男	H29.4.1～H33.3.31
委　　員	森　綾 子	女	H26.10.1～H30.9.30
委　　員	綾野 克紀	男	H29.4.1～H32.3.31
委　　員	竹井 成範	男	H30.4.1～H34.3.31

(3)　事務局

学校教育課（兼務）　早島町前潟３７０番地１　町民総合会館内

（4）　学校教育関係予算（平成３０年度予算―歳出―）　　【単位:千円】

款	項	目	細目	H30 年度	H29 年度	比較
教育費				351,074	313,418	37,656
	教育総務費			82,256	81,062	1,194
		教育委員会費		1,214	1,229	△15
			教育委員会運営費	1,214	1,229	△15
		事務局費		81,042	79,833	1,209
			教育長職員費	13,907	13,837	70
			学校教育職員費	35,373	34,082	1,291
			学校教育行政運営費	3,352	2,189	1,163
			一貫教育事業費	3,136	2,310	826
			はやしま学推進事業費	5,649	4,856	793
			ＩＣＴ教育推進事業費	18,700	22,534	△3,834
			教育振興補助事業費	25	25	0
			中学校における起業体験推進事業	900	0	900
	小学校費			118,453	95,438	23,015
		学校管理費		108,533	86,572	21,961
			小学校管理運営費	48,870	43,707	5,163
			小学校施設整備事業費	25,536	5,509	20,027
			小学校職員費（給食関係）	11,425	17,157	△5,732
			小学校給食関係費	17,419	15,295	2,124
			語学向上教育事業費	5,283	4,904	379
		教育振興費		9,920	8,866	1,054
			小学校就学奨励費	9,812	8,765	1,047
			小学校教育行政運営費	108	101	7
	中学校費			89,427	78,168	11,259
		学校管理費		82,027	70,200	11,827
			中学校管理運営費	41,579	30,097	11,482
			中学校施設整備費	1,242	0	1,242
			語学向上教育事業費	5,283	5,820	△537
			中学校職員費（給食関係）	20,034	13,700	6,334
			中学校給食関係費	8,177	9,887	△1,710
			教育支援員活用事業	5,712	5,670	42
		教育振興費		7,400	7,968	△568
			中学校就学奨励費	7,174	7,745	△571
			中学校教育行政運営費	226	223	3
	幼稚園費			60,938	58,750	2,188
		幼稚園費		60,938	58,750	2,188
			幼稚園職員費	37,368	41,209	△3,841
			幼稚園管理運営費	20,307	16,874	3,433
			施設型・地域型保育給付事業	3,000	250	2,750
			幼稚園教育助成費	263	417	△154

（一般会計）

	平成 30 度	平成 29 度	比較
予　算　総　額	4,781,000	4,488,000	293,000

２　学校園の状況

（１）園児数・児童数・生徒数等（平成 30 年 4 月 1 日現在）　　【 単位：人 】

年齢	早島幼稚園	参　考			
		早島保育園	かんだ保育園	わかみや保育園	住基人口
０歳		7	8	7	105
１歳		34	22	20	126
２歳		28	20	19	127
３歳	47	37	26	16	137
４歳	47	37	27	20	134
５歳	50	42	27	12	140
計	144	185	130	94	769

学年	早島小学校		早島中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
1	118	4	102	3
2	112	4	114	4
3	146	5	109	4
4	118	4		
5	131	4		
6	135	4		
特別支援	知 12　情 34	7（知 2 情 5）	知 2　情 8	2（知 1 情 1）
合計	805	32	335	13

（２）学校教育施設校地面積

幼稚園　　３，８１８㎡

小学校　　１６，３５９㎡

中学校　　２０，９２６㎡

3　学校教育の推進体制

【単位：人】

（1）　学校教育課

課長	1
課長補佐	1
係長（指導主事）	1
主事	1
教育支援コーディネーター	1
ふれあい教室支援員	4

（2）　早島幼稚園

園長	1
教諭	6
講師	2
保育支援員	2
預かり保育支援員	2

※　学校教育課の職員数及び早島幼稚園の職員数は、すべて町費の職員数を示す。

（3）　早島小学校

校長	1
教頭	2
主幹教諭	1
指導教諭	1
教諭	３３
養護教諭	1
栄養教諭	1
常勤講師	9
非常勤講師	３（１）
登校支援員	2
小１グッド支援員	4
特別支援学級支援員	７（７）
外国語指導助手(ALT)	１（１）
情報教育支援員	１（１）
外国語指導員	1
事務職員	2
教師業務アシスタント	1
学校司書	１（１）
給食調理員	２（２）
給食調理補助員	４（４）
校務員	１（１）

（4）　早島中学校

校長	1
教頭	1
主幹教諭	1
指導教諭	1
教諭	１８
養護教諭	1
常勤講師	3
非常勤講師	５（２）
学校司書	１（１）
特別支援教育支援員	２（２）
心の教室教育支援員	１（１）
外国語指導助手(ALT)	１（１）
事務職員	1
教師業務アシスタント	1
栄養士	１（１）
給食調理員	２（２）
給食調理補助員	２（２）
校務員	１（１）
武道講師	１（１）
部活動指導員	１１（７）

※　早島小学校及び早島中学校の職員数は、県費と町費の総職員数を示す。
（　）内の人数は、町費の職員数の内数である。

4　学校教育の基本目標

本町では、国の「第２期教育振興基本計画」を踏まえ、平成２５年１０月に「早島町学校教育ビジョン」を策定し、「地域とつながり　未来を拓く　早島っ子の育成」を実現するための提言を行いました。さらに平成２７年６月に「教育のまち・早島」宣言が採決され、協働・協学・協育の町づくりがスタートしました。

「早島町学校教育ビジョン」及び「教育のまち・早島」の具現化に向けては、次のことを基本目標に掲げ推進しています。

目指す子ども像　　**地域とつながり　未来を拓く　早島っ子の育成**

「地域とつながる」
早島っ子とは

①　早島町のことをよく知り、

早島町の歴史と現状、自然・社会・産業の特徴、すばらしさと課題などについてよく学び、理解する子どもを育てます。

②　早島町の発展のために協力・協働でき、

早島町の持続可能な発展のために、様々な地域住民と、様々な世代と協力・協働できる子どもを育てます。

③　早島町を愛し続けることができる子どものことです。

早島町の学校を卒業しても、早島町から転出しても、早島町のことを思い、誇りをもち、早島町の発展を願う子どもを育てます。

「未来を拓く」
早島っ子とは

④　「確かな学力」を身につけ、自主的・共同的に課題を解決できる力と、

基礎的・基本的な知識・技能を身につけるだけではなく、それらを活用・応用することで、自主的・共同的に課題に取り組み、解決する力を育みます。

⑤　高い志をもち、世界でも活躍できる力を身につけた子どものことです。

我が国の、そして世界の平和的な発展のために活躍できる力を育みます。具体的には、世界を視野に入れた将来への夢や希望・志、国際理解、外国語コミュニケーション力などです。

《育みたい資質能力》

自立（自立した一人の人間としてたくましく生きる）

共生（自他共に尊重し、主体的に社会や自然と関わる）

郷土早島を愛する心（郷土早島を大切に思い、世界に視野を広げ、よりより社会づくりに参画する）

このような「地域とつながり　未来を拓く　早島っ子」を育むために、
次のような教育を重点的に行います。

★　保幼小中の連携を強化し、小中一貫教育を推進します。

★　町民とともに学び、地域を考える「はやしま学」を実施します。

★　各学校・園と地域が連携して早島っ子を育てる仕組みを拡充します。

５　本年度の目標

（１）早島町学校教育ビジョンの推進

早島町学校教育ビジョンのさらなる具現化に向けて､学校教育活動の再構築を行う中で､保幼小中の一貫教育を進めていきます。また、学校教育での「はやしま学」として、ＥＳＤの視点を踏まえた探究活動の充実と小中カリキュラムの再構築とともに、生涯学習での「はやしま学」として、放課後・休日の「はやしま塾」、国際的な視野を身につける「英会話塾」「はやしま国際塾」、環太平洋大学の留学生との「町探検ロゲイニング」など、グローバル人材の育成や豊かな学力の向上に向けて取り組んでいきます。地域に根づく､「大人も子どもも共に学ぶ」学習の場づくりを生涯学習課と連携･協働し､取り組んでいきます。

（２）学力向上に向けた授業改善の活性化

小学３年生から中学３年生を対象とした、全国（県）学力・学習状況調査（国語、算数・数学、質問紙）の実施とともに、町独自の学力調査を、小学４年生から中学３年生（理科・社会・英語）に拡充し、児童生徒一人一人の経年比較をみとり、学習内容の定着や学習習慣を詳細に把握することで授業改善を図ります。また、自学自習力を育成するための「スタディ・パスポート」の活用、読書活動の推進やスマホ・ゲームの使用時間制限（リミットスクリーン）への主体的な取組、保幼小中のチャレンジカードの活用を通して、生活リズムの向上と学習習慣づくりの定着に、家庭と連携して取り組んでいきます。

（３）不登校児童生徒の減少

登校支援員やふれあい教室支援員、学校、教育委員会等が連携を密にとり､「早期発見・チーム対応」を柱に、きめ細かなサポートや教育相談の充実、スクールカウンセラーや専門家の活用に積極的に取り組んでいきます。町ふれあい教室、中学校心の教室での居場所づくりの充実とともに､人権教育の推進､あいさつ５つ星運動の奨励､hyperQ-U調査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）等の実施を通して、学級満足度の高い、自他を尊重する温かい学級集団・学校園づくりを目指し、いじめや不登校の未然防止を図ります。

（４）ＥＳＤの推進　（ＥＳＤ：持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）

生活科・総合的な学習の時間を中心に、単元学習プログラムを再構築し、探究活動の質の向上や育てたい資質能力の明確化、ＥＳＤカレンダーの作成、校種を超えた連携カリキュラムの再構築を図るとともに、教科を中心とした教科横断的な学習プログラムの作成に取り組み、全国発信していきます。また、「ボランティア・パスポート」の活用を通して、地域に誇りをもち、社会貢献のできる生徒を積極的に育成します。

（５）グローバル人材の育成（心の教育と英語教育の充実）

小中学校での道徳の時間を中心とした授業改善を踏まえて、道徳教育推進教師のもと、学校全体で道徳教育の充実を図り、共に生きる力や思いやりの心、相手意識に立った国際人としての心の教育を推進します。また、英語教育において、小学校での英語教育・外国語活動を先行実施し、小中一貫したカリキュラムを作成するとともに、英語検定受験応援制度を構築し、中学３年生までに英語検定３級以上を取得できる環境づくりを行い、英語をツールとしたコミュニケーション能力の育成を行います。

6　本年度の重点事業　　（★は平成３０年度重点事業）

重点項目	一貫教育の推進
目　的	確かな学力と豊かな人間性、健やかな健康・体力を備えた、幼児・児童・生徒の育成に資するよう一貫教育の推進を行う。
計　画	・保育園・幼稚園・小学校・中学校の１５年間で目指すべき子ども像を踏まえた、付けたい力を明確にした授業改善に取り組み、教員の指導力向上を図る。 ・学びの質や深まりに焦点をあて、各教科や道徳、総合的な学習の時間において子どもたちがより主体的に学習に取り組むための効果的な指導法について講師を招聘し、教員参画型の研修会を実施する。 ★ＥＳＤの視点を踏まえた探究活動の質の向上・カリキュラムの再構築とともに、教科を中心とした教科横断的な単元学習プログラムの作成を行う。 ★小中学校でＮＩＥ教育に取り組み、思考力・表現力等を育成する。 ★学校園にボルダリング・スラックラインを設置し、遊び感覚で体幹を鍛え、集中力・思考力を磨く。 ・小学４年生～小学５年生（理科・社会）、小学６年生（社会）、中学１・２年生（理科・社会）、中学３年生（社会・英語）の町学力調査を行い、児童生徒の学力を把握・分析し、教育指導の成果と課題を検証し、経年比較を行うとともに、全教職員で改善策を徹底することで教育効果を高める。 ・小学４年生～中学３年生まで年２回実施する hyperQ-U調査の活用により、児童生徒一人一人の多面的理解や学級集団への所属感などを把握し、いじめ・不登校の未然防止と早期発見に努める。 ・はやしま学園運営協議会では、幼小中の共通項目と独自項目で、学校関係者評価を実施し、保護者・地域・有識者の意見を反映する。

重点項目	社会とつながり未来を拓く、「はやしま学」の推進
目　的	早島町学校教育ビジョンに基づき、「はやしま学」への支援体制を構築する。
計　画	・教育支援コーディネーターやサブコーディネーターを中心に、放課後・土曜はやしま塾、土曜英会話塾、はやしま国際塾、ロゲイニング等を企画・運営し、学校外での子どもたちの学びの場を提供する。 ・教育支援コーディネーターを中心とした支援体制を構築し、大学生や留学生の確保、地域住民、保護者による「早島っ子サポートボランティア」の人材確保をする。 ・「ボランティア・パスポート」を活用し、生徒の社会貢献意識を高め、地域行事への積極的な参加を促す。 ・「子ども議会」「子どもと大人の熟議」「教育のまち・はやしま子どもフォーラム」「早島英語暗唱コンテスト」等を学習成果の発表の場とし、地域に開かれた提案発信をする。【１３ページ図参照】

重点項目	放課後学習サポート事業
目　的	放課後の児童生徒の補充学習・発展学習を行い、学力向上を図る。
計　画	★小学校では、小学２・３年生を対象に、算数のプリント学習や課題別問題集を中心にして、当該学年の課題だけでなく、下学年の復習問題や発展問題にも取り組み、支援員や地域ボランティアが学習支援を行う。 ・中学校では、毎週水曜日の放課後、希望者を対象に、国語・数学・英語の補充学習やＮＩＥ学習を行い、支援員と地域ボランティアが学習支援を行う。 ・「スタディ・パスポート」を活用し、児童生徒自らが学習目標や学習計画を立てることで、自学自習の力を育み、学習意欲の向上を図る。 ★家庭や学校で、Web 教材（カルテック）を活用し、自らの学習状況に合わせ、自学自習のできる機会を提供する。

重点項目	不登校対策事業
目　的	町ふれあい教室を開室し、不登校児童生徒の心の支援や学習サポートを行う。
計　画	・町ふれあい教室に支援員を週５日配置することで、教育委員会と学校が連携して不登校児童生徒の生活リズムの改善や学校への登校を促す。 ・不登校対策担当者会を２か月に１回実施し、登校支援員、担当教員及び教育委員会が情報を共有したり講師を招いて研修したりすることで、不登校児童生徒の早期解消、未然防止に取り組む。 ・町で「不登校親の会」を年３回開催し、個別相談や保護者会を通して、子どもへの思いや願い、学校への期待を聴き取り、保護者支援・学校支援を行う。 ・小学校登校支援員２名の配置により、きめ細かな支援を行うとともに、小中学校ともスクールカウンセラーの効果的な活用に取り組む。

重点項目	ＩＣＴ教育の推進
目　的	ＩＣＴ機器の活用により、児童生徒の学習意欲の向上、校務の情報化による教員の事務負担の軽減等を図る。
計　画	・小中学校における情報教育指導員の配置を継続する。 ★小学校に iPad を１２０台購入し授業の充実を図るなど、ＩＣＴ機器の効果的な利活用について研究推進する。 ★小中学校に教室用パソコン（小学校３０台、中学校１５台）を配置し、児童生徒の学び合いがＩＣＴ機器を媒介として効果的に活用できる授業工夫を行う。 ・ペーパーレスの職員会議やコラボノートの活用など、ＩＣＴ機器の活用を通して、児童生徒と触れ合う時間を確保する。 ・小学校段階におけるプログラミング教育の実施に向けて、教職員研修の実施や、情報教育推進に向けたリーダーの育成を行う。

重点項目	１年生グッドスタート事業
目　的	入学した小学１年生に対して生活習慣確立の支援を行う。
計　画	・小学１年生の生活習慣の確立や基礎学力の向上、小１プロブレムの解消のため４～１２月の期間教育補助員を雇用し、教育の充実を図る。

重点項目	グローバル人材育成事業
目　的	外国や日本の文化に親しみ、英語でのコミュニケーション能力を高め、国際的視野を広げる。
計　画	★小学校での英語教育を先行実施するため、英語専科の教員を配置する。 ★小学６年生の英語の授業で、オンライン英会話を行い、実践力を高める。 ・英語に慣れ親しみ、スピーキング・リスニング能力の基礎を培うため、ＡＬＴ（外国語指導助手）を小学校・幼稚園に１名配置する。また、英語でのコミュニケーション能力の向上を図るため、中学校に１名配置する。 ★小学校英語の授業化に向けて、小中指導カリキュラムを作成する。 ・英語暗唱コンテストを実施し、国際人としての基礎を培う。 ・土曜英会話塾では小学５年生～中学３年生を対象に、年１５回開講し、実践的な英語表現を身につける機会を提供する。 ・環太平洋大学の留学生とのロゲイニングや、英語・母国語での絵本の読み聞かせ、キッズイングリッシュ等を通して、異文化理解や世界への視野を広げる。 ★英語検定３級以上の取得に対して、同一級１回のみ受験料を無料とする。

重点項目	教育支援員活用事業
目　的	支援を要する児童生徒のサポートや別室登校者への対応等、個の教育ニーズを把握し適切な支援を行う。
計　画	・小中学校の特別支援学級への支援員配置や、中学校の心の教室への支援員配置等により、きめ細かな生活支援や学習支援を行う。 ・教員の指導力向上や児童生徒理解に向けて、専門家アドバイザーの派遣を行い、学校が安心して過ごすことができる居場所になるようサポートする。

重点項目	幼稚園預かり保育事業の充実
目　的	幼稚園保護者の子育て支援を行う
計　画	・早島町の子育てを充実させるために、預かり保育の指導員を配置し、幼稚園の開園時間以外の預かり保育を行う。

重点項目	学校図書館と町立図書館とのネットワーク化
目　的	小中学校図書と町立図書館をネットワークでつなぐことで、蔵書検索が容易になるなど、利便性を向上して図書館の利用を促進する。
計　画	・児童生徒の図書館に利用率の向上と、家庭での読書量の拡大を図る。 ★学校と町立図書館をつなぐことで、授業や読書活動の利便性を高める。

7　本年度の学校指標

（1）学校教育ビジョンの推進

項目	指標	評価方法	H29	目標
一貫教育の推進	校種間の連携を大切にした教育活動を行っている教員	教員アンケート	小 65% 中 83%	90%
	保幼小中が一貫した教育活動に取り組んでいると思う保護者	保護者アンケート	小 57% 中 74%	80%
はやしま学協働本部との連携	スタディ・パスポート（はやしま塾等）を積極的に活用する児童生徒	児童生徒アンケート	小230名 中 57名	250名 100名
	英検・漢検に積極的に参加する児童生徒	延べ参加者数	小167名 中148名	250名 430名
	校内での早島っ子サポートボランティア（授業支援、環境美化等）の活用	延べ参加者数	小136名 中52名	150名 150名
	学校外の人材の活用を通して、子どもの総合的な学力が伸びていると思う保護者	保護者アンケート	小 63% 中 50%	80%

（2）学力向上に向けた授業改善の推進

項目	指標	H28	H29	目標
全国学力･学習状況調査(平均正答率)の全国平均との差	すべての教科で全国平均を５ポイント以上上回る。【小６、中３】	【小６】 国Ａ：　-0.4 国Ｂ：　0.5 算Ａ：　-0.2 算Ｂ：　3.3 【中３】 国Ａ：　1.3 国Ｂ：　2.4 数Ａ：　4.3 数Ｂ：　6.1	【小６】 国Ａ：　3.1 国Ｂ：　3.0 算Ａ：　-0.3 算Ｂ：　1.5 【中３】 国Ａ：　1.5 国Ｂ：　3.2 数Ａ：　0.3 数Ｂ：　-1.3	+5pt

項目	指標	評価方法	H29	目標
授業研究の推進	授業は分かりやすく楽しいと思う児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 83% 中 79%	90%
思考力・判断	思考力を深めたり、表現力を育成したりするための授業工夫を行っている教員	教員アンケート	小 88%	100%

力・表現力の育成			中 96%	
	進んで自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることができる児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 66% 中 62%	80%
岡山型学習指導のスタンダードの実践	「めあて」を明示し、「まとめ」「振り返り」のある授業展開【小４の以上】	児童生徒アンケート	小 83% 中 86%	100%
ＩＣＴ機器等の活用	児童生徒の興味・関心を高めるため、効果的にＩＣＴ機器を活用している教員	教員アンケート	小 86% 中 89%	100%
	ＩＣＴ機器を使った授業が分かりやすいと思う児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 88% 中 83%	95%

（3）学校での居場所づくり

項目	指標	評価方法	H29	目標
学年・学級の充実	自分は周りの友だちから認められていると思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 67% 中 79%	90%
	学級の絆づくりに向けて、hyperQ-U調査を積極的に活用して多面的な児童生徒理解をしている教員	教員アンケート	小 51% 中 89%	100%

（4）自己指導力の育成

項目	指標	評価方法	H29	目標
リミット・スクリーンの定着	ゲームやスマホの使用時間を自ら制限できる児童生徒	児童生徒アンケート	小 67% 中 66%	80%
家庭学習の定着	自ら計画を立てて学習できる児童生徒【小４以上】	児童生徒アンケート	小 65% 中 66%	80%
	平日・休日に、家庭学習（塾等含）に１時間以上取り組んでいる児童【小５以上】	児童アンケート	小 77%	80%
	平日・休日に、家庭学習（塾等含）に２時間以上取り組んでいる生徒【中学生】	生徒アンケート	中 27%	70%
よいマナー・規範意識の向上	学校に来るのが楽しいと思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 86% 中 87%	95%
	地域の人に進んであいさつをしている児童生徒	児童生徒アンケート	小 87% 中 87%	100%

（5）ＥＳＤの推進

項目	指標	評価方法	H29	目標
探究的・協同的な取組	生活・総合的な学習の時間に、問題解決に向けて自ら熱心に取り組んでいる児童生徒	児童生徒アンケート	小 74% 中 78%	90%

	地域の自然や歴史に興味や関心がある児童生徒【小６以上】	児童生徒アンケート	小 64% 中 50%	80%
地域貢献活動の推進	地域の環境整備やボランティアに参加している生徒【中学生３年生】	生徒アンケート	中 94%	70%
	地域の行事に参加している児童生徒	児童生徒アンケート	小 61% 中 51%	70%

（６）心と身体の健康づくり

項目	指標	評価方法	H29	目標
道徳の時間の質の向上	道徳教育の充実を通して、子どもたちの思いやりの心が育っていると思う教員	教員アンケート	小 77% 中 97%	100%
	道徳の時間で、話し合ったり書いたりする活動を通して、自己の生き方についてしっかり考えている児童生徒【小５以上】	児童生徒アンケート	小 77% 中 84%	90%
教育相談の充実	悩み事や困ったことを相談しやすいと思う先生がいると思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 75% 中 81%	90%
読書の推進	家庭で、読書をする児童生徒（マンガや雑誌は含まない）	児童生徒アンケート	小 72% 中 65%	80%
体力の向上	身体づくりに向け、体育の授業や外遊びなどに意欲的に取り組む児童生徒【小５以上】	児童生徒アンケート	小 85% 中 83%	90%

（７）開かれた学校

項目	指標	評価方法	H29	目標
学校広報の充実	学校・学年だより、ホームページなどを通して教育活動の様子や情報をよく伝えていると思う保護者	保護者アンケート	小 65% 中 75%	100%

【参照】

地域とつながり　未来を拓く
早島っ子応援事業

土曜日教育支援事業

◆地域の豊かな社会資源を活用し、体系的・継続的なプログラムの実施

・英会話塾　・ロゲイニング

・はやしま国際塾

・科学教室　・ボランティア

放課後子ども教室

◆放課後の学習指導

・自然体験活動支援

・わくわくサマーホリデー

◆小学生や中学生が参画した活動の場づくりの推進

学校支援（はやしま学協働本部）

◆授業等の学習支援

・学校行事支援

・授業支援

・学校環境整備

・登下校の見守り

・放課後学習支援

地域未来塾

◆地域での学習支援

・はやしま塾

・英語検定、漢字検定

・Web 教材（カルテック）の活用

家庭教育支援

◆「親育ち応援学習プログラム」等を活用したファシリテーター養成講座の提供

◆「親プロ」を活用した講座の実施

◆地域住民による家庭教育にかかわる情報提供、教育相談活動等の実施

◆よりよい生活習慣づくりに向けた、保幼小中での「チャレンジカード」の実施、早島リミットスクリーンの周知徹底

生 涯 学 習 課

1　生涯学習推進体制と施設

【推進体制】

生涯学習課

課長	1	（兼町民総合会館館長）

＜社会教育係＞

課長補佐	1	
主任	1	
主任	1	（社会教育主事）
嘱託職員	1	（兼中央公民館館長）
臨時職員	1	

＜芸術・文化係＞

課長補佐	1	（兼務）
主事	1	
嘱託職員	2	

中央公民館

臨時職員	1	

図書館

図書館長	1	（嘱託）
司書	2	（主査）
臨時職員	3	

いかしの舎管理

指定管理者による管理

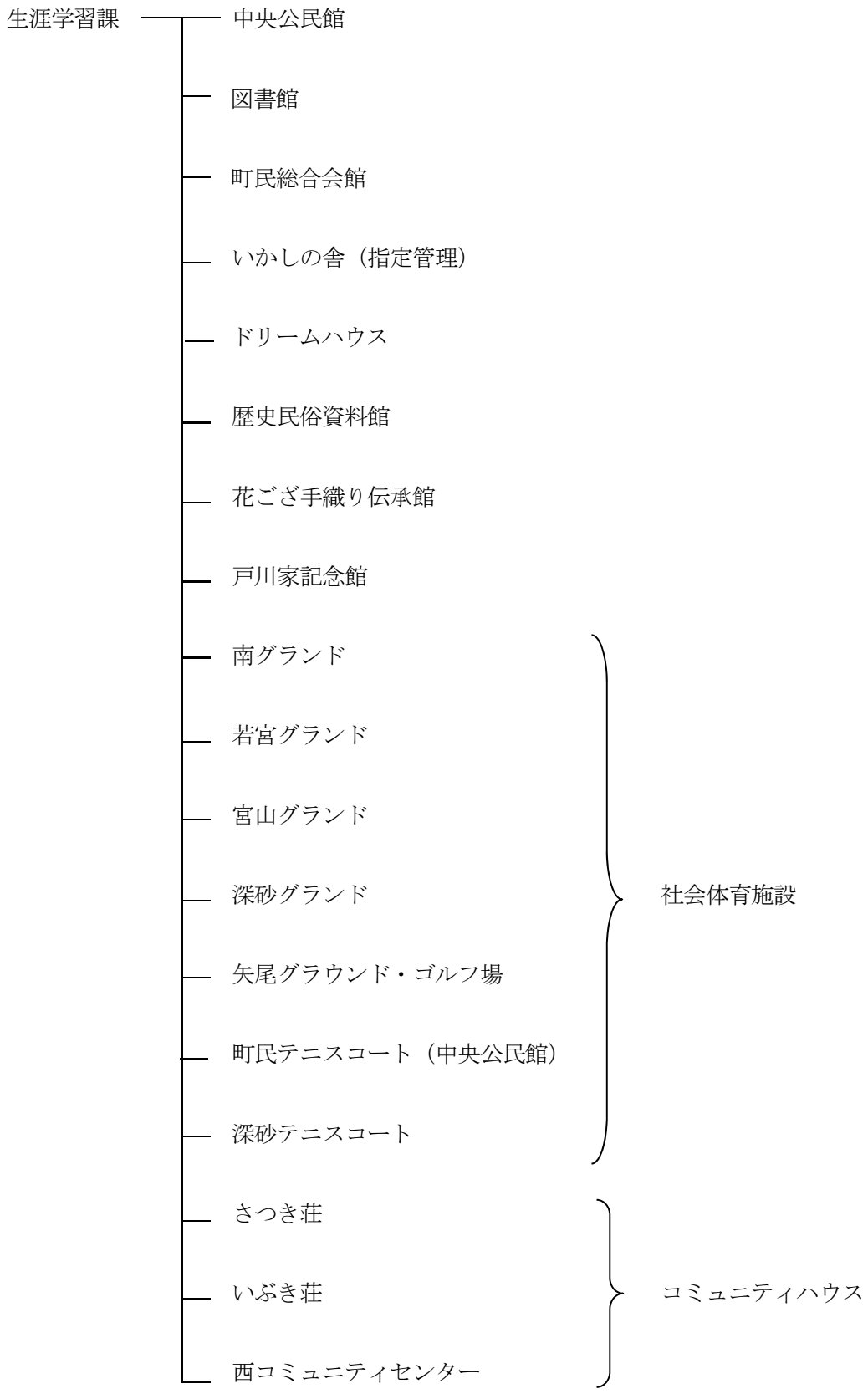
ドリームハウス

臨時職員	1	

社会体育施設管理

臨時職員	1	（グランド等整備）
委託（シルバー）		（グラウンド・ゴルフ場）

【社会教育施設】


生涯学習課
中央公民館
図書館
町民総合会館
いかしの舎（指定管理）
ドリームハウス
歴史民俗資料館
花ござ手織り伝承館
戸川家記念館
南グランド
若宮グランド
宮山グランド
深砂グランド
矢尾グラウンド・ゴルフ場
町民テニスコート（中央公民館）
深砂テニスコート
社会体育施設
さつき荘
いぶき荘
西コミュニティセンター
コミュニティハウス

2　生涯学習推進の基本計画

（1）基本目標

協働・協学・協育の町づくり～地域に学び、地域の主体を育てる、社会教育の推進～

（2）重点施策

①個々の学びに応える環境の整備
②地域課題や社会的課題の解決に向けた学習機会の提供
③地域コミュニティの活性化に向けた取組
④「はやしま学」の実践
⑤芸術・文化活動の振興と歴史的資産の保護、活用
⑥スポーツ・レクリエーション活動の振興

3　本年度の重点事業

事業名	「まなびの舎」の講座・教室の充実
目　的	自己研鑽の場を提供するとともに、その成果を地域に生かす生涯学習のリーダーを育成する。
計　画	・大人はやしま塾としての「まなびの舎」の講座内容を、健康・歴史・ESD（ふるさと）の３分野として、地域への愛着や誇りを感じる、より充実した内容にする。 ★地元企業や団体との連携、小学生との合同実施を増やすことで、より地域愛につなげる講座とする。 ・取得した単位により、受講者をサポーターや講師に認定し、講座の運営等に参画できるようにするため、「まなびの舎だより」や広報誌での更なる周知に努める。 ★認定者や講師認定者には、地域の中でコーディネーターとして活躍できる場を設定し、「まなびの舎」での学びを地域に還元していく道筋をつくる。

事業名	社会教育施設の整備事業
目　的	施設の整備を行い、利用しやすい環境づくりを目指す。
計　画	★いぶき荘のトイレの洋式化を行う。 ★町立図書館では、読書しやすい環境整備を行うとともに、小中学校図書館とのネットワーク化を図る。 ★中央公民館の老朽化した体育施設を新設する。 ★ゆるびの舎の空調設備を修繕する。 ★深砂テニスコートの全面改修を行う。

事業名	地域コミュニティの活性化
目　的	希薄化した地域コミュニティの再構築を図る。
計　画	★夏まつりや町民運動会、町民ソフトボール大会、生涯学習まつりなどのイベントを通して、内容の充実・工夫を図るとともに、実行委員会等を活用して、町民相互の更なる交流に努める。 ★小中学生の行事への積極的な参加や中学生のボランティア活動を支援する。 ★地域の方への広報誌等での周知はもちろん、学校園を通して園児児童生徒に広報していくことで、行事等への参加を促していき、地域とのつながり・かかわりを育てていく。 ★地域防災訓練では、児童生徒も参加できるよう学校園に協力を促す。

事業名	地域ぐるみによる教育体制の構築
目　的	学習支援や体験活動を中心とした「はやしま学」を通して、地域ぐるみの教育体制を築きながら、郷土愛を深め、社会貢献意識を高める。
計　画	・土曜日・放課後・長期休業日を利用し、補充学習や発展学習、体験学習など魅力ある講座として、はやしま塾、ロゲイニング、国際塾、英会話塾、夏休みわくわくタイム等の事業の充実を図る。 ・地域の方や教職員等がスタッフ・講師として参加するなど、地域ぐるみで子どもを育てる教育体制の構築を目指す。 ・ロゲイニングや絵本の読み聞かせ等で、環太平洋大学の留学生と、早島の魅力を再発見するとともに、世界への視野を広げる。 ★夏季休業中の小学生には、わくわくサマーホリデーを２５日間開催し、学習習慣の定着や様々な体験活動によって視野を広げる。 ・国際塾や英会話塾では、国際的に活躍する人物や外国人の講師、留学生と触れ合いなどを通して、国際的な視野を広げるとともに、異文化理解を深める。 ・地域ボランティア、学生ボランティアの拡充を図る。 ★漢字検定・英語検定３級以上の取得を目指し、支援体制をつくる。

事業名	公民館モデル検討懇談会での提言まとめ
目　的	新たな公民館モデルについて、２年間の提言をまとめる。
計　画	・年３回の検討懇談会を開催する。 ★先進地視察等を行い、新たな公民館モデルとしての在り方を意見交換して、提言にまとめる。

事業名	健康づくりとスポーツ活動の推進
目　的	町民の運動習慣の確立とニュースポーツの普及に努め、健康づくりを推進する。
計　画	・ラジオ体操講習会、ウォーキング講習会を開催する。 ・年齢・性別を問わず、楽しめるボルダリングやスラックライン等のニュースポーツを実施するとともに、新たなニュースポーツを模索する。 ★地域総合型スポーツクラブの設置に向けて、検討を行う。

事業名	子育て支援の充実
目　的	親育ち応援プログラムを活用し、ファシリテイター養成講座を開講し、保護者会等でコーディネーターのできる地域の方を育成する。
計　画	・年３回開催し、教職員やＰＴＡ保護者、地域の方をファシリテイターとして養成する。 ★保護者会や懇談会等で、ファシリテイターを活用して、親育ち応援学習プログラムの内容を広め、子育て支援に努める。

事業名	ゆるびの舎　２０周年記念事業、自主事業の充実
目　的	ゆるびの舎の創立２０周年記念を祝うとともに、町民の芸術・文化意識の向上を図るために、様々なジャンルの場の設定を行う。
計　画	・世界的著名な演奏家、元ベルリンフィルコンサートマスター　安永徹氏を迎え、県内ゆかりの若手演奏家で「YURUBI 祝祭室内管弦楽団」を結成し、国内外へ発信する。 ・早島中学校吹奏楽部を中心に、近隣の中学校吹奏楽部や地域のアマチアバンドと一緒にコンサートを開催する。 ★２０周年記念として、心と身体の健康づくりをテーマに、落語会を開き、町民とともにお祝いする。 ・ＮＨＫとの共催事業を行い、マスコミに発信する。 ★様々なジャンルの場の提供として、演劇鑑賞を取り入れる。

事業名	図書館活動の充実
目　的	図書館機能を活かした読書活動の推進を図る。
計　画	★町立図書館と小中学校図書館とのネットワーク化を行い、蔵書を増やすとともに、机・椅子の整備等、読書環境づくりを行う。 ★２階のスタディスペースを広げ、自由に学習できる環境を整備する。 ・朗読や図書館チャレンジ体験等、講座や体験活動の充実を図る。 ・留学生との外国の絵本の読み聞かせを行う。

４　本年度の主要事業スケジュール（資料１参照）

５　社会教育施設の取組

（１）中央公民館

中央公民館は、地域の人々が自主的に学び合い、交流する場として、生涯学習活動・地域コミュニティ活動の中心的施設であり、こうした活動をサポートするために、「町民活動支援センター」のコーディネート機能の充実を図ります。また、老朽化した公民館の在り方に向けて、「公民館モデル検討懇談会」を立ち上げ、２年間の提言をまとめます。

（２）図書館

高梁川流域と岡山連携中枢都市圏（８市５町）内での広域相互利用が開始され、図書館の図書冊数の充実や読書しやすい環境整備を図っていきます。また、町立図書館、小学校・中学校図書館のデータ共有化に向け、ネットワーク化を図ります。

（３）町民総合会館

創立２０周年を迎えるにあたり、心と身体の健康づくとして「落語会」を開催し、町民とともに２０周年をお祝いします。また、空調整備に取り組み、過ごしやすい環境づくりを行います。

（４）いかしの舎

指定管理者により柔軟な発想で企画・運営を行い、より充実したサービスの提供を行います。

（５）歴史民俗資料館・花ござ手織り伝承館・戸川家記念館

歴史民俗資料館は、イ草で栄えた歴史文化を伝える場として、花ござ手織り伝承館は花ござ手織技術の体験・伝承の場として、戸川家記念館は、旗本戸川家の資料展示による昔の人々の生活を感じられる場として、大切な誇るべき地域資源です。全国的に誇るべき特色ある施設を町内外へ広報・情報発信するとともに、観光ボランティアガイドと連携し、観光資源としての活用や、「はやしま学」の学びの場としての活用を広めていきます。

（６）矢尾グランド・ゴルフ場

多くの方が利用しやすいよう、昨年から導入したサマータイム（６月～９月）に引き続き取り組むとともに、芝生や土の環境整備等に留意していきます。

（７）その他の社会教育施設等

深砂テニスコートの全面改修やいぶき荘のトイレの洋式化、体育倉庫の改修など、スポーツに慣れ親しむ環境整備や相手意識に立った利用しやすい環境づくりに努めます。

資料１

平成３０年度主要事業の日程等

生涯学習課

月 日	曜日	事 業 名	場 所
4月 15 日	日	春季早島町民ソフトボール大会	南グランド、深砂グランド
5月 27 日	日	健康ウォーキング大会	近隣市内
6月 10 日	日	朗読講座生による朗読発表会	中央公民館　外
7月 15 日	日	アンサンブル早島サマーコンサート 2018　in ゆるび	町民総合会館 文化ホール
8月　8 日	水	親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座①	オアシス早島
8月 11 日	土	備中はやしま夏まつり	南グランド
8月 18 日	土	第１回古典文学講座	町民総合会館 研修室
8月 25 日	土	第２回古典文学講座	町民総合会館 研修室
9月 16 日	日	演劇フェスティバル 2018	町民総合会館 文化ホール
10 月 7 日	日	町民運動会	南グランド
10 月 8 日	月	第 10 回児島湾干拓太鼓フェスティバル	町民総合会館 文化ホール
10 月 14 日	日	生涯学習まつり（～11/4）/クラブグループ発表会	町民総合会館、公民館等
10 月 20・21 日	土・日	みんなのスタインウェイ　ピアノリレーコンサート	町民総合会館 文化ホール
10 月 28 日	日	ゆるびの舎開館 20 周年記念事業	町民総合会館 文化ホール
11 月 4 日	日	生涯学習まつり・いきいき広場	中央公民館 外
11 月 11 か 18 日	日	秋季早島町民ソフトボール大会	南グランド、深砂グランド
12 月 8 日	土	親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座②	オアシス早島
12 月 9 日	日	早島ふるさと音楽祭 2018	町民総合会館 文化ホール
1月 6 日	日	第４回“ゆるび”ニューイヤーコンサート	町民総合会館 文化ホール
1月 13 日	日	早島町成人式	町民総合会館 文化ホール
1月 27 日	日	第 10 回早島町マラソン・駅伝大会	早島町役場前
2月 17 日	日	第 21 回ゆるびコーラスフェスティバル	町民総合会館 文化ホール
2月 24 日	日	ゆるび劇場 2019　あつまれ！子どもたち	町民総合会館 文化ホール
3月 9 日	土	親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座③	オアシス早島
3月 31 日	日	安永徹・市野あゆみ YURUBI 祝祭室内管弦楽団演奏会	町民総合会館 文化ホール

※　早島町い草ラケット大会

平成３０年度早島花の銀行友の会事業計画

月	日	事　　業　内　容
4	１２	第１回理事会
	２７	総会、寄せ植え講習会（作品を５月上旬頃まで展示）
5	１１	とっとり花回廊視察研修
	２４	★菊の育て方講座（第一回）
	下旬	花の銀行だより発行（春～夏の行事案内等）
6	上旬	菊苗配布（小菊）
	上旬	アサガオの育て方講座（第一回）
	上～下旬	第３１回ハナショウブ展
	中旬	ハナショウブ園視察
	２８	★菊の育て方講座（第二回）
	下旬	アサガオの育て方講座（第二回）
7	下旬	第５１回アサガオ展
8	２３	★菊の育て方講座（第三回）
9	上旬	第２回理事会
	下旬	花の銀行だより発行（秋～冬の行事案内等）
１０	下旬	菊と秋の花なら何でも展
	下旬	花苗等の交換会
１１	上旬	菊花展視察旅行
１２	上旬	葉ボタン配布
	中旬	寄せ植え講習会（お正月用）
Ｈ３０		
2	上旬	第３回理事会
	中旬	花の銀行だより発行（冬～春の行事案内等）
3	下旬	新年度登録会員に鉢物配布
その他	おかやまアダプトボランティア活動 毎月第２木曜日８：３０　尾高商店前集合 ※★のついている箇所は、３０年度の新しい事業・内容です。	

平成３０年度公共・アダプト事業計画

月	日	事　業　内　容
6	中旬～下旬	花苗配布
１１	中旬～下旬	花苗配布